

復習シート 第一学年 国語



組

番号

名前

模範解答

【互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことができるかどうかをみる問題。】

1 野村さんの学級では、学級文集のタイトルを決めています。次は、学級文集のタイトルについて、各グループで話し合ったことを報告し合う【報告場面の一部】です。これをよく読んで、あとの（問い）に答えましょう。

【報告場面の一部】

石川 学級文集のタイトルについて、学級目標と同じように、明るくかかやくイメージの言葉にするところまで決まっています。それをふまえて、ここまで話し合ったことを中島さんのグループから順番に報告してください。

中嶋 私のグループでは、まわりを照らすというイメージから、「太陽」がよいという意見にまとまりました。

西山 ぼくのグループでも、「太陽」がよいということになりました。理由は、太陽は明るく、まわりをあたたくくすることもできるからです。

野村 私のグループも、明るくというイメージの「太陽」がよいという意見がありました。しかし、学級の一人一人がかかやくというイメージで「銀河」がよいという意見もありました。どちらもよい意見で、一つにまとまりませんでした。「太陽」だけでなく、「銀河」についても、ぜひみんなに考えてほしいです。

（報告が続く）

（問い）野村さんは、どのようなことを報告していますか。その説明として最も適切なものを次の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

- 1 話し合って一つにまとまったことを報告している。
- 2 一番多く出されたことを報告している。
- 3 学級全体で取り上げてほしいことを報告している。
- 4 同じ意見でも理由がちがうことを報告している。

（平成二九年全国学力・学習状況調査）

話し合う時は、役割や目的に応じて話す内容を整理して伝え合うようにしましょう。

3

2 【聞き手が理解しやすいように、話の全体の構成を工夫することができるかどうかをみる問題。】
次は、竹内さんが、自動車工場で見学したことをもとに、分かったことや考えたことを説明した内容の一部です。竹内さんは、説明をどのようにくふうしていますか。最もふさわしいものを、下の1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましょう。

【説明した内容の一部】

わたしは、自動車工場で見学したことの中から、自動車ができるまでの流れについて、分かったことや考えたことを説明します。最初に、自動車ができるまでの流れを、「プレス」、「ようせつ」、「とそう」、「組み立て」、「検査」という五つの段階に分け、分かったことを順番に話していきます。そのあと、自分が考えたことをまとめて述べます。まず、「プレス」という段階について、話します。

（説明が続く）



- 1 聞き手に問いかけながら説明している。
- 2 見学に行った理由を最初に説明している。
- 3 話の全体構成を伝えてから説明している。
- 4 工場で見学したことを全部説明している。

（平成二二年全国学力・学習状況調査）

分かりやすいスピーチにするために、話の全体構成をはじめに伝えるなど、構成を工夫して伝えたいことが明確になるようにしましょう。

3

埼玉県学力・学習状況調査（中学校）

復習シート 第一学年 国語



組
番号
名前
模範解答

【目的に応じて文章の構成を考え、理由を挙げながら自分の考えを書く問題】レベル9・10

1 岡本さんは、国語の時間に、埼玉県の街について調べ、紹介する学習に取り組んでいます。次は、発表に向けてまとめた発表原稿の下書きです。

これを読んで、あとの問いに答えなさい。

秩父市は、埼玉県の北西部に位置している、県内で最も広い市です。夏の家族旅行で訪れたことがあるので、興味があって調べてみました。

A

秩父には、豊かな自然を生かしたたくさんのお祭りがあります。その一つが、羊山公園です。武甲山のふもとに市街地を一望できる高台にあり、様々な花が植えられています。特に、春になると、芝桜（しばざくら）が広大な敷地をうめつくし、まるで白とピンクのじゅうたんのように、とてもきれいです。そのほかにも、桜や菖蒲（しょうぶ）などの花がさき、人々の目を楽しませます。

秩父では、年間を通して様々なお祭りが行われています。その中でも特に、秩父夜祭が有名です。ユネスコ無形文化遺産にも登録されており、毎年十二月一日から六日に行われています。この祭りでは、地域の神様への感謝をささげる神事として、屋台といわれる山車（だし）がひかれます。各屋台が、祭ばやしやおどりなどをひろうし、とてもはなやかです。また、花火も盛大に打ち上げられ、たくさんの方が見物に訪れます。

B

今回調べてみて、今まで知らなかった埼玉県の魅力を発見することができました。まだまだ秩父にも、埼玉県にも、たくさんよいところがあると思うので、多くの人に知ってもらいたいです。

岡本さんは、紹介文をより分かりやすいものにするために、次の文を入れようと考えています。あなたなら、文章中のA・B条件に従って、自分の考えを書きましよう。

秩父市には、
た。また、歴史

【条件】

- ・初めの段落に、
んだか書くこ
- ・次の段落に、
かの理由を、何
るかの効果によ

文章を書く際に、常に読み手のことを意識する必要があります。どのような言葉を使うとよいか、どのような順番にすればよいか、それぞれの効果を考えながら、文章を組み立てていきましょう。

私は、Aに入れる方がよいと思います。

なぜなら、秩父市の特徴をはじめに紹介することで、その後に何が書かれているかが分かり、くわしく読んでみようとする読者に思ってもらえるからです。

私は、Bに入れる方がよいと思います。

なぜなら、その前の二つの段落で紹介されているみ力を後からまとめることで、読者に秩父市の特徴をより印象付けることができるからです。

復習シート 第一学年 国語



組
番号
名前

【登場人物の心情にかかわる内容を読み取る問題】

1 次の問題を解きなさい。

模範解答

次は、らん太の持久走大会の日の出来事を書いた【物語の一部】です。これを読んで、後の問いに答えましょう。

「はあ。」

らん太は、大きなため息をはいた。自分の好きなフレンチトースト付きの朝食ものを通らない。「早く食べてしまいなさい。ちこくするわよ。」

いつもなら、軽くうけながす母の言葉が、みように自分をイライラさせる。朝食を食べた後、今日三回目となる体温を測るも、熱は一向に上がらない。体温計が「もうかんねんしな。」と、ぼくに言っているように感じた。

学校への道。どんよりとしたくもり空が、ぼくの心を表しているようだった。

「」。

心の中でつぶやいた。学校では、みんな緊張の面持ちで、なんだか落ち着かない様子だった。担任の熱次郎先生の健康観察もいつになく気合が入っている。

「全員出席だな。今日は六年間で最後の持久走大会だ。くいの無い走りをしてほしい。」

くいの無い走りをするより、早く終わってほしい、できれば走りたくないという気持ちの方が強かった。

二時間目が終わった後に着替え始めてから、このスタート位置につくまで、すごく長い時間が過ぎたように感じた。自分の期待とは裏腹に日差しがでている。

「友達と遊んでいる時は、あんなに早く時間がすぎるのに、なんでだろう。」今日は心の中でよくしゃべる。

(1) なぜ、らん太は、一つ選びなさい。
らん太の言動から、らん太が持久走大会に対して消極的であることが読み取れます。そのため、ここでは3が適切となります。

レベル5・6

- 1 風邪をひいていたから
- 2 体温計を使ってみたかったから
- 3 持久走大会に参加したくなかったから
- 4 熱次郎先生に怒られたくなかったから

3

(2) にあてはま

レベル6

スタート位置についた時の「自分の期待とは裏腹に日差しがでている」に着目すると、雨が降ることで持久走大会の中止を期待していることが読み取れます。そのため、ここでは1が適切となります。

- 1 雨が降らないかな
- 2 よしががんばるぞ
- 3 早く走りたい
- 4 一番になってやる

1



埼玉県学力・学習状況調査 (中学校) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

復習シート 第一学年 国語



組
番号
名前

模範解答

【文脈に即し、適切な同訓異字を選択する問題】 レベル7～9

1 次の文の——部に当てはまる漢字を、下の()から一つ選んで、丸をつけよう。

①身長をはかる。(測る) ・量る ・計る

②川の水がすむ。(住む) ・済む ・澄む

【同じ構成の三字以上の熟語を選択する問題】 レベル9・10

2 次の①～③と同じ構成(成り立ち)になっている三字以上の熟語を、それぞれ下の()から選んで、丸をつけよう。

①諸問題 (未提出) ・松竹梅 ・警察署 ・高性能

②可能性 (衣食住) ・電車賃 ・緑地化 ・非常識

③臨時列車 (海水浴客) ・正三角形 ・起承転結 ・入学試験

【主語に対する述語を文中から選択する問題】 レベル10・11

【臨時列車】二字熟語+二字熟語

3 長い文を読むときには、次の例のように、主語と述語との関係に注意すると意味が分かりやすくなります。

□の中の文で、主語を示す部ア・イの熟語にあたる

ものを、——部1から4までの中からそれぞれ一つ選んで、その番号を書きましょう。

(例) みんなが植えた木は、どんどん育った。

(主語) (述語)

主語は、「だれは(が・も)」「何は(が・も)」を表す言葉です。述語は、「どうする」「どんなだ」「なんだ」を表す言葉です。主語と述語だけをつなげて短い文になるかどうかを確認してみましょう。

アわたしは、アサガオの青いイ花が次から次へと1さいいて、やがて黒い色を2した
たくさん³の種が³できるまでの様子⁴を毎日⁴観察した。

アわたしは

4

イ花が

1